

ごあいさつ

校長 阪本 真紀子

井戸堂小学校校長として2年目です。どうぞよろしくお願いいたします。

井戸堂小学校は、明治5年創立の歴史の古い学校です。昨年度は区切りの150周年を迎えました。温かく落ち着いた土地柄に恵まれ、地域の皆様に大切にいただいている学校です。

さて、校長通信「ぽかぽか便りパート2」でもお知らせしていますが、この春、井戸堂小学校の図書室がボランティアさんの手でリニューアルされました。床に座ってリラックスしながら本を読める絵本コーナーは、子どもたちから大好評です。また、自然科学分野にも興味関心を広げてもらいたいと、隅にあって目につきにくかった本を見やすい位置に移しました。図書室前の壁面には、新たに理科関連の本を紹介したり、季節の植物豆知識を紹介したりするコーナーも作っていただきました。早速子どもたちがそれを見て、校長室の窓越しに、「カラスノエンドウとスズメノエンドウの違いは何でしょう?!」「そこに紹介してる花、学校にも咲いてたで!」などと嬉しそうに話してくれます。毎週木曜日には、絵本の読み聞かせもしてくださっています。静かに、時には笑い声をあげながら聞き入っています。

本校の課題の一つに、読む力と、読書習慣定着率の弱さがあります。また、理科への学習意欲の弱さもあります。学校の課題として取り組みつつ、一緒に向き合い歩んでいただける方がいてくださることは、心強くありがたいことです。

これは、ほんの一例です。この他にも、栽培ボランティアさんや見守りボランティアさん、さまざまな関係機関・団体の皆様に支えていただいています。

今、子どもの育成と地域の活性化には、学校・家庭・地域が模索しつつ、力を合わせていくことが求められています。コロナ禍の3年間で、どうしても周りとの関係は希薄になりがちでした。経験不足も懸念されます。改めて感じる同じ場で顔を突き合わせた際の温かさやエネルギーを活かし、積極的に広く深くつながりをつくれたらと思います。と同時に、何を何のためにするのか、ねらいを明確にしつつ行事をはじめ様々な教育活動を見直し、精選していく必要性も感じています。

本年度の学校教育目標は「じっくり考え、これと決め、本気で行動する力の育成」です。そのためには、まず教職員自身がそうであることが大切だと思っています。教職員一同、一丸となって教育活動に邁進していきます。ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。